



福島の子どもの
保養プロジェクト

沖繩・球美の里

基本マニュアル (第6版)



認定 NPO 法人 沖繩・球美の里

●球美の里のカラフルロゴマーク (左上) & 「船と女の子」(中央下) には自然の力を受けて、みんなで力を合わせて櫓(ろ)をこいで進むという意味が込められています。宮崎 駿さんがデザインしてくださいました。

沖縄・球美の里とは



設立の経緯

2011年3月11日、東日本大震災によって福島第一原子力発電所が爆発しました。人々の健康を脅かす大変な事故だったにもかかわらず、政府や官庁、電力会社は「安全」という言葉を繰り返して、迅速な対応をしようとしませんでした。そこで、私たちは、「被曝のない場所で一定期間保養することによって、免疫機能が放射能で侵されることを防ぎ、深刻な病を発症しにくくなる」という、チェルノブイリ原発事故（1986年4月／当時のソビエト連邦・現ウクライナ）の被災者支援で学んだ経験と確信をもとに、福島の子どものための保養プロジェクトをスタートしました。

長期にわたり安心して保養を続けるためには、近くに原発のない場所が必要です。日本には全国各地に原発があり、場所探しに難渋しましたが、多くの方のご協力をいただきながら探すうちに、2012年1月、元沖縄県知事の故・大田昌秀氏が、氏の故郷である久米島を紹介してくださいました。久米島は、沖縄本島から西に100キロの地点にある、美しい自然に溢れた島です。施設に適切な建物も見つかり、同年3月、保養施設の設立を決定・発表しました。そして、突貫工事をお願いして、7月5日に、第1回の保養をスタートしました。



施設の運営

第1回の保養は、参加者51名（子ども32名・保護者19名）で、2週間行いました。その後も、より良い保養に向けて試行錯誤を繰り返しながら、毎月1～2回、各8日から2週間の保養を行い、2019年3月末で全103回、延べ4,397名（子ども3,538名／保護者859名）の保養を行いました。

沖縄・球美の里の運営費用は、この活動に賛同してくださる方々、多くは一般のみなさまからのご寄付です。球美の里がスタートしてからずっと寄付を続けてくださっている方がたくさんいらっしゃいます。また、大きな団体や企業、個人では石井竜也さんなどのご賛同者から多大なご寄付をいただいています。さらに、保養時には多くのボランティア（久米島までの交通費は自己負担で無給）が参加してくださっています。福島の子どものことを思う、多くの方々のお気持ちをいただいて、球美の里は運営を続けられています。



保養に参加する子どもの費用は、一部のプログラム費、保険などを除いて航空運賃、滞在費など無料です。保護者はプログラム費、保険、航空運賃など支払っていただきます。学校の休暇中には小中学生を招待し、学期中は未就学児と保護者（母親）を中心に保養をしていただいています。

支援者の方々に支援いただき、社会に広く支持されていることが認められ、2012年10月9日にNPO法人、そして、2015年7月7日には、認定NPO法人の認可をいただきました。



久米島のみなさまに感謝

沖縄・球美の里は、久米島町の町をあげての支援を受けています。施設建設の時には、のべ百人にもおよぶ町民のボランティアの支援をいただきました。私たちは、この施設が沖縄という地に建設されたことの意味を、重く受け止めています。沖縄は、かつて日本に占領され、日本の戦争の「捨て石」にされ、米軍の占領地として差し出され、今も米軍基地に巨大な面積を占められ、差別と被害を受け続けています。特に久米島は、沖縄戦後に日本軍によって住民がスパイ扱いをされて処刑されるという痛ましい事件が起こった地です。日本政府による米軍基地縮小化・本土への移転の約束は、たえず反故にされ、沖縄の人々は裏切られてきました。

こういう痛ましい歴史がありながら、久米島町と住民のみなさまが、福島の子どもの子どもたちを温かく受け入れてくださり、心からの支援をしてくださっていることに、私たち理事・職員は深く感謝をしています。私たちは、より一層歴史を学び、この地で保養をした子どもたちが、やがて将来、沖縄と本土との正しい関係を築く担い手になって欲しいとを願っています。

私たち大人が守らなくてはならないのは、福島の子どもの子どもたちだけでなく沖縄の子どもの子どもたちも、そして日本、さらには世界中の子どもたちです。そのことを、久米島での生活を通じて、大人もそして将来大人になる子どもたちも深く理解できるようになると、私たちは信じています。



保養を続ける意味

福島や近隣の地域では、今でも避難生活を余儀なくされたり、放射能の値の高い地域に住み続けて



いる人たちがいます。チェルノブイリでは人々の居住が禁止されているレベルの放射線量がある地域に、今も子どもたちが住み続けています。福島原発事故は、8年以上たった現在に至っても、多くの人々を苦しめています。そして、それは残念ながら、まだこれから先も続くでしょう。チェルノブイリでは、事故から30年以上経った現在でも人々にさまざまな影響を与えているのです。

私たちは、沖縄・球美の里での生活を定期的に繰り返すことによって、つまり、保養によって免疫力を上げることにより、子どもたちの健康を守りたいと考えています。可能ならば、本当に安全な状況になるまで子どもを疎開させられたら一番いいのですが、それができない事情があるなら、この保養を繰り返すほかありません。

また、私たちは久米島の沖縄・球美の里の施設そのものが、壮大なセラピーの役割を果たす場所だと考えています。久米島の山や海は、人間の力を越えて、子どもたちを癒してくれます。さらに、ボランティアを含めた人々が、子どもたちのためにさまざまなプログラムを組んでいます。地元のお母さんたちを交えた厨房では、久米島・沖縄を中心とした食材で豊かな食卓を準備しています。私たちは、福島の子どもの健康のために、できる限りのことをしたいと考えています。

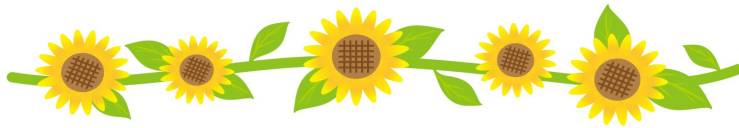


最後に

放射能はまだわからないことだらけです。だからこそ、私たちは、今できることを続けて行きたいと考えています。いろいろなアイデアを検討し合い、取り入れながら、多くのみなさまにご協力をいただいて、活動を続けていきます。

子どもたちに、そして、不安な気持ちを抱えて生活をされている保護者のみなさまにも、いつか放射能のことを忘れて、自然に包まれた生活を思いっきり楽しんでもらい、島の人がつくってくれた料理を食べて、免疫力をつけて病気になりにくい身体になってもらうこと、これが沖縄・球美の里設立の一番の目的なのです。

認定 NPO 法人 沖縄・球美の里

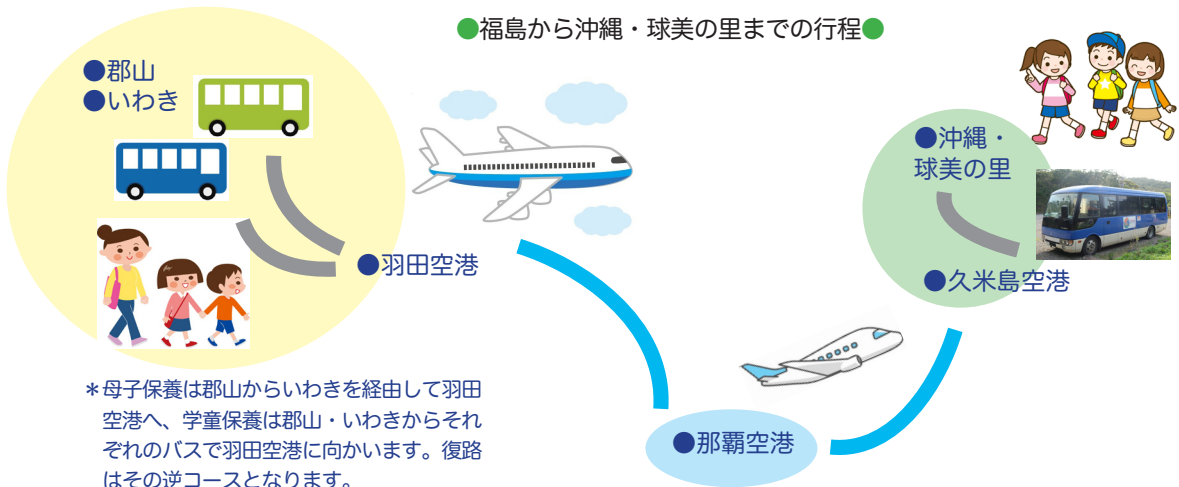


●沖縄・球美の里の保養対象者●

福島県在住および高濃度汚染の近隣県に在住する小中学生および未就学児とその母親。保養の回によって、「学童保養（小中学生）の回」と「母子保養（未就学児・小学1・2年生&母親）の回」があります。



●福島から沖縄・球美の里までの行程●



*母子保養は郡山からいわきを經由して羽田空港へ、学童保養は郡山・いわきからそれぞれのバスで羽田空港に向かいます。復路はその逆コースとなります。



◆久米島の気候◆

季節	3～4月	5～6月	7～9月	10～11月	12～2月
気温	18～23℃	23～30℃	27～32℃	19～27℃	14～19℃
気候と服装	初夏。基本は薄手の長袖、日中は半袖で過ごせる日もあります。薄い羽織る物を持っていると安心。	梅雨。雨が多いので、雨具の用意を。基本は暖かく、湿気が多いので、半袖半ズボンで充分過ごせます。	真夏。陽射しが強いので、海では、日焼け止めやサングラス、ラッシュガードがおすすめ。熱射病に注意。台風、降水量ともに9月がピークです。	朝晩は気温の差がありますが、基本は半袖か長袖、11月頃は冷え込むので、カーディガンやジャンパーなどを持っていると安心です。	冬。暖かいと思われがちですが、海風が強く、気温以上に寒く感じることがあります。長袖のセーターに、防寒用のジャンパーなどがある方がよいです。



沖縄・球美の里の施設案内

沖縄・球美の里は、久米島空港から車で約20分、山城^{やまくすく}という地域の山間にあります。宿泊や食事などをする本館を中心に、新館、木のおもちゃのあるピラミッド、図書館、海が見えるカフェ、走り回れる芝生エリア、砂場、岩山など、ワクワクドキドキの施設です。



①芝生エリア：天気の良い日はみんなでボール遊びなどをして遊びます。また、沖縄の赤土を使った泥染めも体験できます。



②ピラミッド：室内遊びスペース。ドイツ製の木のおもちゃやぬいぐるみなど、子どもたちが喜ぶものがたくさん置いてあります。ライブやイベントの時の会場にもなります。



③大型遊具：ボルダリングや滑り台などがある大型遊具が2018年11月より登場。小さな子どもたちがお店屋さんごっこができるスペースもあります。



④保健室：身長や体重の測定や、体調の優れない人がいた場合の対応に使います。また医師による甲状腺検診（希望者のみ）もこちらで行います。



⑤畑：ニラ、キャベツ、セロリなどをつくっています。子どもたちが手にしているのはミニトマト！野菜や果物は島の人たちからの差し入れもあります。





⑪図書館横のカフェスペース：ここでは遠くに海を眺めながら、ゆっくり時間を過ごすことができます。ママカフェ「ゆんたくひんたく」があるときは、おやつとお茶をいただきながら、みんなで楽しくおしゃべりします。写真下は、宮崎駿さんデザインの「ゆんたくひんたく」のキャラクター。沖縄の言葉で「たくさんおしゃべり」という意味です。



⑩図書館：絵本や図鑑、小説など寄付いただいたたくさんの本が置いてあります。小さな子どもがねころがって絵本を読むスペースもあります。本を借りて読んだり、勉強することもできます。



⑨岩山：大きな岩がたくさんあります。かくれんぼをしたり、宝探しをしたり。珍しい花や植物、生き物もたくさんいます。



⑧新館：2014年10月にできた、2階建ての宿泊スペース。全室フローリングで布団使用なので、小さい赤ちゃんでも安心です。



⑥食堂：みんなで一緒にごはんを食べます。料理は島のお母さんたちの手づくりです。「くわちーさびら（いただきます）」「くわちーさびたん（ごちそうさま）」覚えてね。



⑦本館：2段ベッドがある宿泊スペース。地下にはトイレとシャワールーム、ユニットバスがあります。2階にはスタッフ用の宿泊部屋があります。

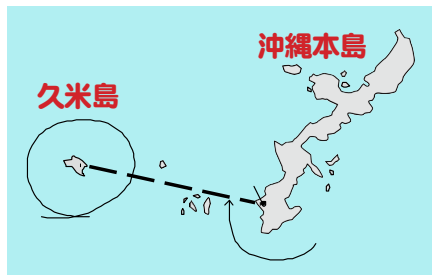


▲赤い屋根が本館、白い建物が新館。

久米島のご案内 & プログラムの紹介

★沖縄・球美の里のプログラムは地元久米島の方々のご協力のもとに成り立っています。また、天候やスケジュールの関係でプログラムを組めないこともあります。

久米島は、那覇空港から飛行機で約 25 分、東洋一美しいと言われる砂浜のある、自然豊かな南の島です。球美の里滞在中にたくさんのプログラムを用意しています。



②ホタルドーム：東北楽天ゴールデンイーグルスのキャンプで使われる施設で、雨が降ったときのプログラム。室内で、ボール遊びや縄跳び、綱引きなどで思いっきり体を動かします。

③久米島ホテル館：県指定の天然記念物であるクメジマボタルをはじめ、久米島の貴重な生き物たちに触れ、自然の大切さを学ぶことができる施設です。五感を使って、虫や花を見つけるビンゴゲームをしたり、小川や沼で、魚や生き物を観察することができます。館内には、ミニ生物館もあり、多様な生態系を学ぶことができます。



①久米島空港：空港や地元のお土産品店でお土産を買います。



④アール浜：山に囲まれた、静かで美しい浜辺です。散歩をしたり、足を海につけたりしてゆったり過ごします。



⑤教会の芝生：沖縄・球美の里と同じ地区にある久米島希望が丘キリスト教会の芝生をお借りして、ボール遊びやリレーなどさまざまな外遊びをします。

⑦銭田森林公園：見晴らしのよい、海の見える公園。現在、宮崎駿さんが出資した「風の帰る森プロジェクト」が進行中です。



⑥やちむん土炎房：沖縄・球美の里の隣にあるやちむん土炎房でシーサーづくりをします。シーサーは粘土からつくる「つくり(高学年向け)」と、すでにあるシーサーに色をつける「絵つけ(低学年向け)」から選べます。



●フリーデー●

母子保養では一日（朝食の後から夕食の後まで）自由に過ごせる日があります。移動は沖縄・球美の里のバスか、ご自身でレンタカーなどの手配も可能です。自由にプランを組んで、久米島を満喫してください。



⑭慰霊碑：久米島では、沖縄戦で多くの住民が犠牲になりました。球美の里がある沖縄はどんなところなのかを知るために、はじめに沖縄の歴史についての映像を見てから、慰霊碑の前で黙祷をします。日程が合えば、地元の方のお話を聞くことができます（学童保養のみ）。

⑫ウミガメ館：世界的に絶滅の危機にさらされているウミガメたちの生態を学ぶことができる施設です。大きな水槽があり、ゆったりと泳ぐウミガメの姿を見学します。（母子保養、フリーデーのみ）。



⑬ハテの浜：東洋一と言われる砂浜だけの無人島。360°青い海と真っ白な砂浜が美しい島です。沖縄・球美の里から車で20分、船に乗って20分で着きます。春休みと冬休みの学童保養のときに行きます。



●宇江城城跡

⑨ ●登武那覇公園

山城バス停

イーフ⑧
ビーチ●

⑤ ●久米島希望が丘
キリスト教会

●銭田
森林公園

⑥ ●やちむん
土炎房

⑦

●沖縄・
球美の里

④ ●アーラ浜

⑩ ●
置石●

●ウミガメ館

●バーデハウス久米島⑪

⑩置石（磯の生き物観察）：久米島在住の生き物博士の小川さんと、磯にいる生き物を実際に見たり触ったりするプログラムです。はじめに触ってはいけない貝などの説明をした後、ビーチに行って観察をします。魚や貝、ヒトデ・ナマコなどさまざまな生き物を見ることができます。



⑪バーデハウス久米島：海洋深層水の温浴施設です。水着で入りますが、温浴施設なので泳ぐことはできません。海洋深層水によるリラックス効果で心身ともにリフレッシュします。



⑧イーフビーチ：久米島を代表するビーチ。日本の渚100選にも選ばれています。さらさらした白い浜辺が広がります。夏は泳いだり、浜で遊んだりします。



⑨登武那覇（とぅんなは）公園：高台にある見晴らしがよい公園。坂が多く、全面芝生なので、ダンボールでそりすべりができます。



沖縄・球美の里 施設内プログラムの紹介

沖縄・球美の里の施設内でもたくさんのプログラムをご用意しています。



●なんくるさんしん●地元久米島の子どもの中心の民謡グループ。保養のたびに、沖縄の三線の演奏を中心としたライブをしてくれます。オリジナル曲『球美ぬ里にめんそうれ』は、沖縄・球美の里のためにつくられた曲で、沖縄新唄大賞を受賞。ハワイにも遠征に行くほどの実力です。素敵な演奏を楽しんでください。



●くめしゅわ●地元の手話サークル「くめしゅわ」による手話歌や手話劇のプログラムです。一緒に手話で歌を歌ったり、ジェスチャーゲームしたり、みんなで手話を学びます。



●空手教室●沖縄は空手の発祥の地。琉球古武道の先生が、基本的な空手の型などを教えてくれます。みんなで「えいやー！」と体を動かします。



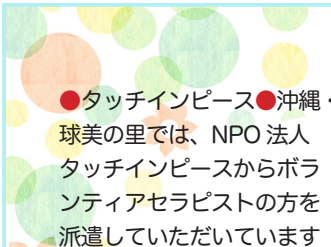
●地域の方々との交流●地元の老人会の方々から昔遊びを教わっていたり、保育園の園児たちと一緒に遊んだり、地域の方との交流を楽しみます。



●エコバッグづくり●雨の日のプログラム。新聞紙を使ってエコバッグなどをつくります。折り紙やマスキングテープなどで飾りつけをすれば、自分だけのオリジナル作品ができます。



●泥染め●敷地内にある赤土で布を染めると、あたたかなオレンジ色に。沖縄・球美の里の白いTシャツを染める子どもも多いです。タオルやハンカチなど白い綿素材なら、どんな物でも染めることができます。



●タッチインピース●沖縄・球美の里では、NPO法人タッチインピースからボランティアセラピストの方を派遣していただいています

(毎回ではありません)。赤ちゃんから子ども、お母さんまで、希望者はタッチケアを受けることができます。植物由来のオイルマッサージは、子どもたちにもとても人気です。



●お別れ会●いろいろな場所から来たお友達。最終日には仲良くなったみんなで、歌やダンスなど、毎回いろいろな出し物をして別れを惜しみます。みんなが一つになって楽しむプログラムです。

沖縄・球美の里 生活スケジュール

沖縄・球美の里では、
毎日以下のようなリズムで暮らします。



●起床：朝、ベルがなったら起床。顔を洗ったり、身支度をしましょう。その前に起きたら、電気をつけずに部屋で静かに過ごしてください。

Staff 起床・着替え・洗面の世話 (学童保養のみ)

●掃除：班に分かれて館内や外の施設の掃除をします。スタッフの指示に従ってください。

Staff 掃除指導・補助、保養者の体調チェック、予定確認

●食事：食堂に集合してご飯を食べます。食事の前には必ずうがいと手洗いをしましょう。

Staff 食事前の手洗い・うがい・消毒(手)の誘導。配膳・食事中の保養者の見守り。食後の片付けの指示や補助

●プログラム (午前・午後)：お出かけしたり、施設内で過ごしたり、プログラムを行います。天候や保養者の体調によってプログラムを調整します。

Staff プログラム同行 (保養者の見守り・安全管理・備品の準備・片付け)

●休憩・お昼寝：昼食の後 (30分程) は、母子は休憩やお昼寝の時間です。学童は自分の部屋の掃除をします (遊ぶ時間ではありません)。

●おやつ：キッチンスタッフによる手づくりのおやつを食べます。

●プログラム (夜)：なんくるさんしんのライブ、くめしゅわのプログラムが入ることがあります。夜のプログラムがあるときはシャワーが混み合うので、お早めに。

●消灯・就寝：部屋の電気を消して寝ます。シャワーやドライヤー、寝る準備は消灯の時間までに済ませておきましょう。

Staff 子どもたちの就寝準備・消灯後の見守り (学童保養のみ)

●夜の時間：保護者・スタッフは、夜の11時まで食堂を使っただけです。入浴や洗濯 (本館のみ) も使っただけです。子どもたちは就寝していますので、静かに過ごしてください。ドライヤーは地下でどうぞ。

★上記の他にミーティング (保養者・スタッフ) があります。



●寄付のお願い●

認定 NPO 法人 沖縄・球美の里の活動・運営は、すべてご寄付で成り立っています。周囲のみなさまに募金のお願いを広めてください。振り込み用紙付きのチラシも用意しています。必要な方は東京本部までご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

【郵便振替口座】 00160-6-634014

【口座名称（漢字）】 特定非営利活動法人 沖縄・球美の里

☆認定 NPO 法人 沖縄・球美の里へのご寄付は、税控除を受けていただくことができます。詳細は東京本部までお問い合わせください。



●ボランティア募集●

沖縄・球美の里の活動をお手伝いいただけるボランティアを募集しています（東京／久米島）。
詳細はホームページをご覧ください。



■認定 NPO 法人 沖縄・球美の里

	所在地・連絡先	担当
東京本部	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-19-7 タックイレブン高田馬場 702 号室 TEL：03-6205-6139 FAX：03-6205-6140 MAIL：tokyo@kuminosato.net	・募金集め ・広報 ・総務
久米島事務局	〒901-3111 沖縄県島尻郡久米島町字山城 799 番地 TEL/FAX：098-985-8880 TEL：080-5008-0233（兼 夜間・緊急連絡先） MAIL：kumejimajimukyoku@gmail.com	・保養の実施 ・施設の管理 ・ボランティア募集

■たらちね・こども保養相談所

	〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑 11-3 認定 NPO 法人 いわき放射能市民測定室 気付 TEL：0246-38-7173 FAX：0246-38-8322 MAIL：tarachine.hoyou@gmail.com	・保養の募集 ・保養の申し込み受付 ・保養の説明会 ・保養の送り出し
---	--	---

■沖縄・球美の里のホームページなど

ホームページ	http://www.kuminosato.com/	
保養ブログ	http://kuminosato.blog.fc2.com/	
フェイスブック	https://www.facebook.com/kuminosato.net	
インスタグラム	https://www.instagram.com/kumino_sato/	
* 沖縄・球美の里のホームページの QR コードです →		